

外科

総合外科（小児外科グループ）

TEL 022-717-7758（外来）

完全予約制



科長
和田 基 教授



診療科WEB



外来担当医表



地域の先生方へ

新患外来を月曜と木曜の午前に行っています。初めて当科を受診される際には新患外来にご紹介ください。急患は24時間体制で受け入れておりますので、いつでもご連絡ください。

診療内容

(1)当診療科は、新生児外科、小児消化器外科、小児肝胆道外科、小児呼吸器外科、小児移植外科、小児腫瘍外科、小児内視鏡外科といった各領域の専門家が最先端の医療を行っています。一方、虫垂炎などの救急疾患やそけいヘルニアや便秘などの頻度の高い疾患にも広く対応しています。

(2)疾患に応じて、小児科や産婦人科、関連診療各科、診療部門、東北大学病院以外の施設とも連携して治療を行います。昨年より総合外科の一員となったことで、これまで以上に成人外科の各専門科とも密に連携をとり、より最適な治療を行えるようになりました。集学的な治療が必要とされる小児がんにおいても、関連各科と連携して治療を行うことができる全国有数の施設です。また小児がん拠点病院として、チャイルドライフスペシャリティ、小児精神科医や児童心理学者などとも協力して子供達や親御さんに対する心理的ケアを行い、理想的な小児外科医療の提供を目指しています。

(3)胆道閉鎖症治療のパイオニアです。東北大学の故葛西森夫名誉教授が、世界で初めて胆道閉鎖症根治手術（葛西手術）を開発して以来、豊富な臨床経験に基づき、術前術後管理、合併症の治療を含め、世界の指導的立場にあります。

(4)短腸症や腸管運動障害といった、腸管不全症に対して、様々な治療法を組み合わせた腸管リハビリテーション（機能回復）プログラムを行っています。なお、当院は国内に12施設ある小腸移植実施認定施設にも認定されており、小腸移植は当科が担当しています。

(5)小児に対する内視鏡や臍部切開による手術など、低侵襲で整容性にも考慮した手術を積極的に行っています。

得意分野

当科は、胆道閉鎖症をはじめとする肝胆道疾患、ヒルシュスプルング病（および類縁疾患）や腸管不全に関して、全国から多くの症例が集まる日本を代表する施設の一つです。また、さまざまな疾患に対して、術後の整容性に優れたアプローチや術式を採用し、できる限り侵襲が少ない手術を行っています。



主な対象疾患

そけいヘルニア	門脈圧亢進症／肺・縦隔・食道疾患（嚢胞性肺疾患、食道閉鎖・狭窄症など）／胸壁・腹壁の異常（漏斗胸、臍帯ヘルニア、腹壁破裂など）
停留精巣	横隔膜の異常（横隔膜ヘルニアなど）
臍ヘルニア	良性腫瘍（血管腫、リンパ管腫、奇形腫など）
肥厚性幽門狭窄症	悪性腫瘍（神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、悪性胚細胞腫瘍など）
腸重積症	
急性虫垂炎	
胃食道逆流症	
頸部瘻孔・嚢胞	
小腸・大腸・肛門の疾患（小腸閉鎖、鎖肛、ヒルシュスプルング病など）	
腸管不全	
肝胆道疾患（胆道閉鎖症、胆道拡張症など）	



小腸移植手術風景